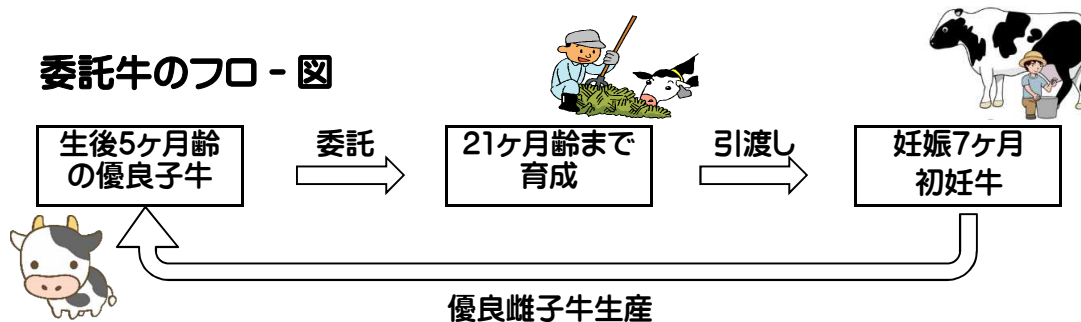


II 乳用牛部門

1 事業目的

県内の酪農家で生産された生後5カ月齢前後の雌子牛のなかから選定基準に適合したものを、委託牛として酪農家から預かり、大規模草地で生産された自給飼料等を利用して育成し、経済性の高い初妊牛として農家に供給する。

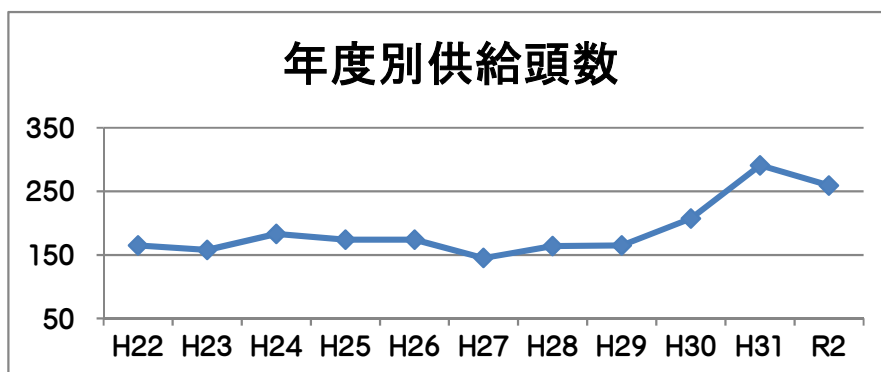
2 委託牛のフロ - 図



3 委託費

委託日数 × 委託費 (850円/日)
概ね518日 × 850円 = 440,300円

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
委託費(円/日)	660	660	660	660	660	660	700	700	700	850	850
供給実績(頭)	165	158	183	174	174	145	164	165	207	291	259



4 供用種雄牛

委託牛は農家と協議し、ホルスタイン種(雌雄判別精液も含む)もしくは、黒毛和種の種雄牛精液を受精する。

